



イラスト/原本千明

もはや結婚相談所だけじゃない! 婚活パーティ、婚活バーに 結婚予備校まで

婚活パーティに 参加してみた

TVドラマや雑誌など、あちこちで“婚活”がブームだ。その中心は、アラサー・アラフォーと呼ばれる世代。ただし、どうも女性の声が大いせいいか、婚活は女性の視点から語られることが多いような気がする。そこで、男性読者が大半を占めるマガジンXは、オトコ目線で婚活の実態を調べてみよう、ということになった。30代独身、まさに婚活世代まっただ中のライター、島田健弘がその真実に迫る、渾身のルポだ。

新婚から最近近いビルをのぼると、十数人の男女が列をなしていた。最後尾に並び寄付45000円の参加費を支払って、3番のナンバールームをもらい、奥のパーティールームに運ばれた。部屋にはすでに40人ほどの男女が向かい合ひに座っていた。ここは、結婚相手、交際相手を探しあひだし、マッチングする。指定の席に並び、受付でもらったプロフィールカードに身長、年齢、所在地、年収、趣味、希望のパートナーなどを書きこむ。ついに結婚パーティがはじまった。

まずは女性の参加受付とのお見合いだ。お互いプロフィールカードを交換しあい、趣味や血液型などから話のネタを探し出して会話を始める。この所要時間はわずか分。自己紹介とフリートークの合間にせいせいだ。時間が来ては席の途中で席を移動させられる。なにせ20人以上の異性に会話をしなければならぬので、わずかな遅れも許されぬのだ。挨拶をすませると、相手の女性はプロフィールカードに、なにやらメモを取って、ああ、そこに自分の詳細が書かれているのか……と感傷的になりながら、メモを取る余裕すらなく次の相手を探し始める。次から次へとこれを20数人分繰り返したころには、途中で話した大半の女の子の印象はなくなっていた。「このお見合いが終わると、フリートークタイムに入ります」と女性とお話してくだい」とと笑われながら、人気のある女性には複数の男が群がって来る。運良く最後に話した女の子が気に入らなければ、自分の位置からほかの女性に話しかけた場合、フリートークの相手してもらうのは不可能という。単みの特異能力ではない、なんでもできずに終わってしまうことも。そしてやがて夕食会がスタートする。お見合いの相手と交際相手を探しあひだし、マッチングする。指定の席に並び、受付でもらったプロフィールカードに身長、年齢、所在地、年収、趣味、希望のパートナーなどを書きこむ。ついに結婚パーティがはじまった。

おそよ2時間の及んだ婚活パーティはこれで終わった。パーティといながら、お茶の一杯も出さず、お菓子一個もなく、20数回自己紹介を繰り返しただけのイベントだった。結婚、草食系の男子にこのスタイルは無理!! 高度な狩猟能力と運、そして準備ができていない、はじめて成立するイベントだといってはいいだろう。ちなみに女性陣は一度このパーティに参加してカップルになった人が3割と聞くと「一番興味を惹かれています」という人(26歳)をささげ、参加した事情があった。一番多かった職業は看護士(4人)だった。これまで接点のなかった白衣の天使と結婚した自分を納得させて、筆者はパーティ会場を去ることにした……。

女性急増中の婚活フルタイムにチャンス到来か?! 「最近の婚活フルタイムの影響で女性への入会者数が増えています」と東京都港区の結婚相談所「フロムワングル」の代表である林文彦氏はそう言う。4月の番組改編期には「コンカソ(リ)」「NHK」「婚活活動(ソ)」「ソ(ソ)」「婚活(ソ)」「ソ(ソ)」と「婚活フルタイム」がスタートした。「婚活パーティ」お見合いパーティ、「お料理合コン」「花婿学校」「結婚予備校」といった人目を引くサービスも多数登場し、平日18時から婚活をスタートした特集やニュースが登場するなど、ブームも1クールを迎えているのだ。

ブームで登場した新しい出会いの表。料理合コン、婚活パーティ、ゴルフ合コン、婚活ネット、ブレイクダンス合コン、夢の出会い、ペット同好合コン。各項目に詳細な説明が記載されている。

車キョーカイ人必読 オトコ目線のリアルレポート

“婚活”でどうよ!?

「オトコ目線」のリアルレポート。婚活パーティに参加してみた。婚活は女性の視点から語られることが多いような気がする。そこで、男性読者が大半を占めるマガジンXは、オトコ目線で婚活の実態を調べてみよう、ということになった。30代独身、まさに婚活世代まっただ中のライター、島田健弘がその真実に迫る、渾身のルポだ。



結婚相手紹介サービス 業界は苦情だらけ。少子化問題と深刻化する日本では晩婚化、未婚化が進んでいる。2006年の厚生労働省「人口動態統計」によると、女性の平均初婚年齢は32.0歳、男性は29.6歳だ。10年で男女ともに歳以上晩婚化した。



「オトコ目線」のリアルレポート。婚活パーティに参加してみた。婚活は女性の視点から語られることが多いような気がする。そこで、男性読者が大半を占めるマガジンXは、オトコ目線で婚活の実態を調べてみよう、ということになった。30代独身、まさに婚活世代まっただ中のライター、島田健弘がその真実に迫る、渾身のルポだ。

「オトコ目線」のリアルレポート。婚活パーティに参加してみた。婚活は女性の視点から語られることが多いような気がする。そこで、男性読者が大半を占めるマガジンXは、オトコ目線で婚活の実態を調べてみよう、ということになった。30代独身、まさに婚活世代まっただ中のライター、島田健弘がその真実に迫る、渾身のルポだ。

